

ミコシギク	<i>Leucanthemella linearis</i> (Matsum.) Tzvelev	絶滅危惧Ⅰ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		キク科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が極めて少ない。	写真(国立科学博物館) 標本 
形態の特徴	長い地下茎を出す。茎は高さ30-100cm。葉は多くは深裂して1-2対の細い裂片を形成する。頭花は直径3-6cm、舌状花と筒状花があり、舌状花は白色。総苞は長さ約5mm。	
生態的特徴	日当たりのよい湿地に生育する。花期は9-11月。	
分布状況	中国と朝鮮にもあり、日本では本州と九州にある。岐阜県では美濃地方東部の低湿地に見られる。	
減少要因	湿地の埋め立てと、山草愛好家による採取。	
保全対策	東濃の低湿地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘